

ポイント3

複数形

名詞には複数形が無く、複数を表したいときはその名詞を2度繰り返す。

大きさ、程度を表す一部の形容詞も同じ。

例:buku 本→ tiga buku-buku 3冊の本

orang 人→ orang-orang 人々

banya 多い→ banyak-banyak より多い (比較級)

また、最初から複数形をとる単語もある

例:kanak-kanak 子ども(小学校低学年以下の児童・幼児)

ポイント4

派生語

マレー語は接頭語+語幹+接尾語の形をとる単語が多く、その形によって品詞が変わる。

例:ajar(「教え」に関する語幹)

ajar+an =ajaran 教え(名詞)

men+ajar =menajar 教える(動詞)

bel+ajar =belajar 勉強する(動詞)

peng+ajar =pengajar 教員(名詞)

pel+ajar =perajar 生徒(名詞)

peng+ajar+an =pengajaran 教育・訓練(名詞)

pel+ajar+an =pelajaran 研究(名詞)

ber+pel+ajar+an= berpelajaran 教育を受けた(形容詞)

…など

ポイント5 基本会話

*Selamat petang.(こんにちは)

*Nama saya ~.(私の名前は~です)

*Apa nama anda?(あなたのお名前は何か?)

*Saya orang Jepun.(私は日本人です)

*Apa Khabar?(ごきげんいかがですか?)

*Khabar baik, Terima Kasih.(元気です、ありがとう)

*Sama-sama(どういたしまして)

*Selamat belajar.(勉強がんばってね)

*Jumpa lagi.(また会いましょうね)

ポイント6 マレー語・その他の特徴

*他の言語に由来した単語が比較的多い。

*Doktor(ドクトル=博士)、Univasiti(ユニバシティ=大学)、Sains(サイイツ=科学)、Teknologi(テクノロジー=技術)など、英語の発音をほぼそのまま用いている単語や、イスラームを国教とする国らしく、「selamat (平和・安心)」や「jalan (道)」など、アラビア語を語源とする語彙も数多く見られる。

*ちなみに、cawan(チャワン)は、陶器のカップ・杯を指す単語である(茶碗というより湯飲み)。